

文献情報							
表題・資料名							
被覆肥料利用による畑地からの肥料窒素溶脱抑制							
部会	G2	文献ID	R2005	観測ID	S006	公表年	1997
著者名							
松丸恒夫							
収録雑誌名							
日本土壌肥科学雑誌							
巻号	68(4)	ページ	430-434				
地目							
畑地(野菜以外)							
地目備考							
陸稲(トヨタモチ)							
立地							
ライシメーター							
立地備考							
面積4m <sup>2</sup> (2×2m)、深さ1.3m(深さ1mまで供試土壌)							
栽培方法							
改善							
栽培方法備考							
改善(被覆硝酸、基肥1回のみで省力化)							
施肥量							
窒素					リン		
150					65		
施肥特記事項							
基肥1990/5/14被覆燐硝安加里100日+燐							
土壌		土壌群	土壌統群	土性-1	土性-2		
砂質土		砂丘未熟土	砂丘未熟土	S			
土壌備考							
海成砂質土、匠達郡野栄町今泉で採取							
栽培特記事項							
千葉県農業試験場内ライシメータ(1984年設置)							
全調査期間		計算対象期間開始年月日		計算対象期間終了年月日		調査頻度	
1990/6/1~1991/4/30(浸透水採取期間)		1990/6/1		1991/4/30		精密(週1回以上)	
調査期間備考							
毎朝9時に浸透水サンプリング(水が10L以上たまったときに)							
降雨時流出負荷の加味							
有							
降雨時流出負荷備考(具体的な回数など)							
1日1回サンプリングだが、全量回収しているので、降雨流出を加味している							
代かき田植え時精密調査							
計算方法							
計算方法		降水			灌漑水		
排出負荷							
TN							
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total				
0	0	67.8	68				
備考							
アンモニア態窒素、硝酸態窒素を分析							
TP							
表面排水	暗渠排水	浸透水	Total				
0	0	0	0				
備考							
SS							
表面排水	暗渠排水	Total					
0	0	0					
備考							
有機物							
種類	表面排水	暗渠排水	浸透水	Total			
	0	0	0	0			
備考							
単位							
量/面積			/期間				
kg/ha			年				
計算に用いた具体的日数			数値のみ(日)				
0.91年			334				
備考							
浸透水サンプリング期間のみを対象に計算							

日本環境学会(2013) 非特定汚染源からの流出負荷量の推計手法に関する研究  
注: データを引用する際には必ず元文献をご確認ください。